

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

元気1：「地域の知の拠点」連携・創造プログラム（主担当部：政策部）

<プログラムの目標>

県立図書館、地域の文化施設、大学等高等教育機関などの身近な施設が「地域の知の拠点」としての機能の充実に取り組むとともに、これらが連携した取組を進めることで、新たな知恵の創出や地域の魅力の向上につながる県民の皆さんの主体的な取組が生まれています。

<構成事業（担当部）>

- （1）知識・情報発信図書館整備事業（教育委員会）
- （2）みえの文化蔵（「人・モノ」集積・発信・活用）事業（生活部）
- （3）高等教育機関との連携強化事業（政策部）

<プログラムの想定事業費>

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
17,910	(23,000) 17,714	21,000	21,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

<構成事業の目標>

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)県立図書館のレファレンスサービス利用件数	目標値	-	4,500件	5,000件	5,500件	6,000件
	実績値	3,885件				
(2)さまざまな主体が連携して取り組む文化芸術などを体験するプログラムの実施数	目標値	-	プログラムの作成	4件	6件	6件
	実績値	-				
(3)大学等高等教育機関の多様な知的資源を活用する講座やセミナーなどに参加・参画する県民の数	目標値	-	300人	400人	400人	400人
	実績値	-				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・県立図書館の知識と情報の拠点化に向けて、暮らしに身近な情報を提供するコーナーや、ビジネスを支援するコーナーを開設するとともに、県民のニーズに対応した講座、講演会を開催するなど、サービスの充実と広報の強化をはかっています。県民の皆さんへ積極的な広報を行うとともに、三重県産業支援センターなど関係する専門機関との連携を進める必要があります。
- ・文化芸術に関する人材・団体等や、三重大学との共同研究等による歴史的・文化的資産等の調査を実施し、情報の収集・蓄積を行うとともに、主に子どもたちを対象とした本物の文化芸術に親しむことができるプログラムを検討しています。今後は、地域の歴史的・文化的資源に関する情報等の収集・蓄積をさらに充実させるとともに、県民の皆さんがこれらの情報を効果的

に発信・活用できるよう、関係機関との連携強化や文化活動体験をコーディネートできる人材の育成が必要です。

- ・人材やデータなどの高等教育機関の知的資源の活用に向けて、「みえアカデミックセミナー」との連携を進めるとともに、地域の課題解決につながる講座などの検討を進めています。高等教育機関が主体的に県立図書館や地域の文化施設、市町と連携し、知的資源を地域に還元することができるよう、高等教育機関相互の情報共有・意見交換の場や地域との交流の機会を設けることが必要です。

<平成20年度の取組方向>

県立図書館で、関係する専門機関との連携を進め、県民の皆さんに対する情報収集支援や学習支援機能を充実します。

引き続き地域の貴重な歴史的・文化的資産に関する情報等の収集・蓄積を進めるとともに、文化芸術団体や文化施設等と連携し、子どもたちを対象とした文化活動体験プログラムを地域のニーズに応じて実施できるよう、人材育成などに取り組みます。

高等教育機関と連携し、地域の課題解決につながる講座等を引き続き開催するとともに、三重大学をはじめとした高等教育機関が地域の文化施設や市町等と連携して進める地域との交流などの取組を促進します。

<他の主体の参画内容>

- ・三重県産業支援センターなど関係する専門機関は、県立図書館との連携を深め、多様な情報を発信します。
- ・三重大学図書館は、地域の貴重な歴史的・文化的資産の収集に参画します。また、地域の文化芸術団体や文化施設等は、文化活動体験プログラムを活用し、子どもたちに様々な文化活動体験ができるモデル事業を実施します。
- ・高等教育機関が立地する市は、高等教育機関の多様な人材や情報、及び地域の団体や文化施設がもつ機能やノウハウを活用し、地域内での連携・交流の取組を推進します。

<主な予算要求事業>

知識・情報発信図書館整備事業【20年度予算額 6,951千円】(事業(1))

県民のさまざまな自己実現を支援する「知識と情報の拠点」として、課題解決に役立つ情報や、交流の機会を提供するなど、新しい県立図書館づくりのための取組を進めます。

みえの文化蔵(「人・モノ」集積・発信・活用)事業【20年度予算額 8,388千円】(事業(2))

地域の歴史的・文化的資源に関する情報の収集・蓄積を行うとともに、県民の皆さんが文化施設を拠点として、これらの情報を効果的に発信・活用できるよう支援します。

高等教育機関との連携強化事業【20年度予算額 2,375千円】(事業(3))

文化施設等を利用した地域との連携・交流の推進や県民の皆さんへの学びの場の提供など、高等教育機関の主体的な取組を促進します。